

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	ニチアスセラテック株式会社					
代表者名	氏名	更屋 正明	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県上水内郡飯綱町大字牟礼396					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2 1 窯業・土石製品製造業				
主たる事業の概要	2 1 9 1 ロックウール・同製品製造業 (ロックウール、AESウール、同二次加工品の製造)					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	14,332	14,189	12,366	12,487	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	38,155	37,773	32,961	32,675	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	116		101	96	
自動車の台数	台	24		23	21	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	42				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2021	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧可能場所 : 本社・牟礼工場 閲覧可能時間 : 10:00～15:00 事前に日時調整が必要（要連絡） 担当部署 : 設備技術部 連絡先 : 本社・牟礼工場（代表）026-253-2170
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境行動指針

ニチアス環境憲章に従い、以下の項目を継続的に活動し、改善を図っていきます。

- 3 環境パフォーマンスの向上
省エネ・省資源・化学物質管理などの環境目標をたて、実行します。

(ニチアス環境憲章、環境行動指針より抜粋)

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

別紙 「ニチアスセラテック株式会社 省エネルギー推進体制」 参照

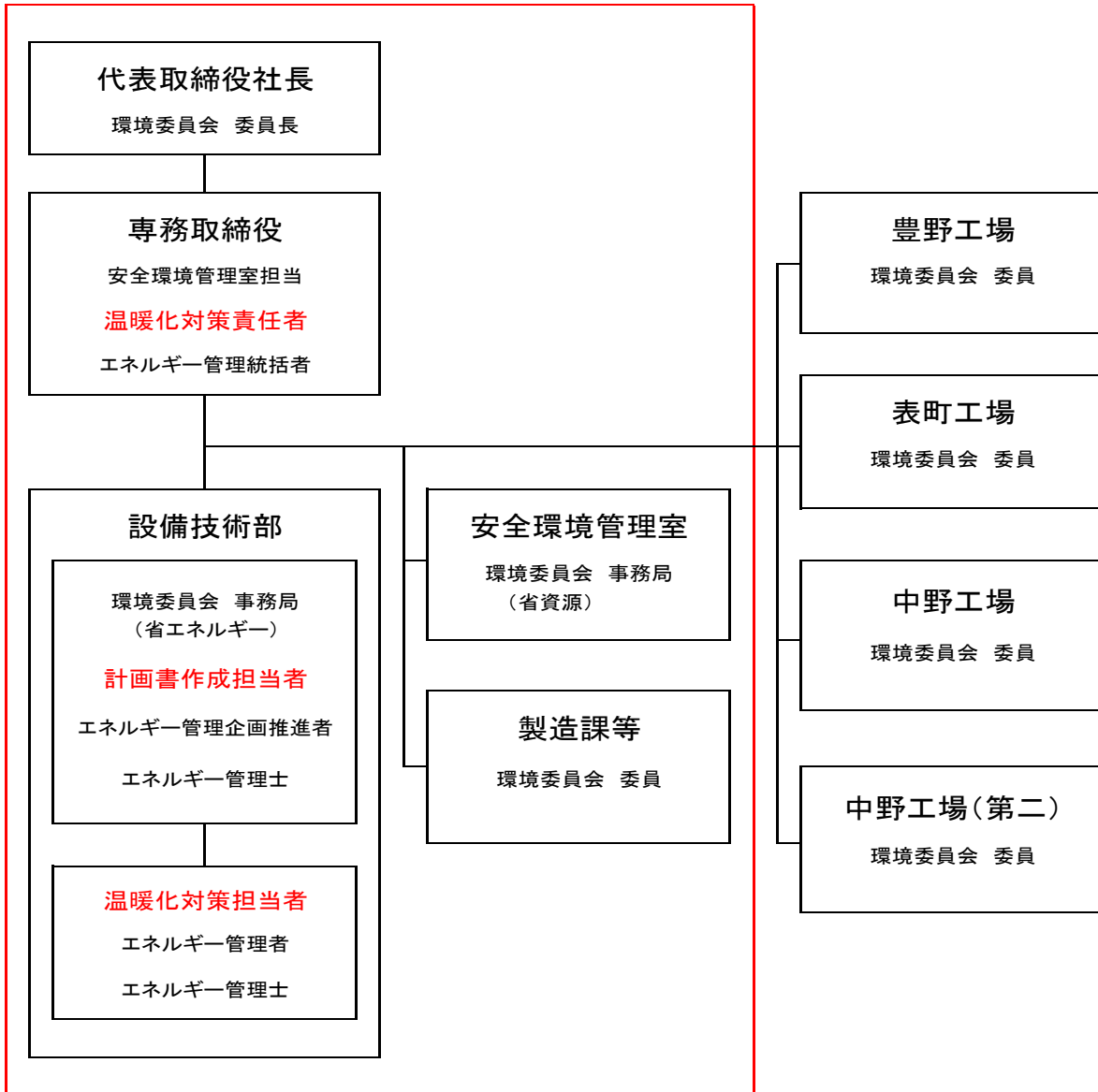
5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境委員会 (旧 省エネ推進委員会を統合)	1回/月
ニチアスグループ省資源・省エネルギー分科会	2回/年

ニチアスセラテック株式会社 省エネルギー推進体制

環境委員会

本社・牟礼工場（第1種エネルギー管理指定工場）



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	38,155	t-CO ₂	換算生産数量	42.92	単位	千t
2019年度	調整後排出量	38,155	t-CO ₂	基準原単位	888.98	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量	37,773	t-CO ₂	目標原単位	880.09	t-CO ₂ /	千t
2022年度	目標削減率	1.00	%	目標削減率	1.00	%	
目標設定に関する説明	<p>設定条件 換算生産数量を42.92千t/年として、排出量、原単位を1%改善する。</p> <p>第3次計画の策定にあたり、原単位の分母となる指標を「生産数量」から「換算生産数量」に変更しました。省エネ法「定期報告書」は2019年提出分（2018年度実績）から分母を換算生産数量に変更済みです（補足資料参照）</p>						
第一年度	排出量	32,961	t-CO ₂	換算生産数量	37.24	単位	千t
	削減率	13.61	%	原単位	885.14	t-CO ₂ /	千t
2020年度	調整後排出量	32,847	t-CO ₂	原単位削減率	0.43	%	
	削減率	13.91	%				
排出量等の増減理由	<p>本社・牟礼工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に減産傾向 ・ 2020年度は自動化ロボットの導入にあたり、工事期間中ラインを停止したため生産量が減少 ・ 2020年度は設備の老朽化更新にあたり、工事期間中ラインを停止したため生産量が減少 ・ 受注量の減少による小ロット生産が継続 <p>その他工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年度はコロナ禍の影響もあり、受注量が減少（生産量が減少） ・ 2020年度も工場再編のため工場間で設備の移動があり、試運転、試作に要するエネルギー（生産に寄与しないエネルギー）が増加 						
第二年度	排出量	32,675	t-CO ₂	換算生産数量	38.15	単位	千t
	削減率	14.36	%	原単位	856.38	t-CO ₂ /	千t
2021年度	調整後排出量	32,561	t-CO ₂	原単位削減率	3.66	%	
	削減率	14.66	%				
排出量等の増減理由	<p>本社・牟礼工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に減産傾向 ・ 減産により二酸化炭素排出量が減少 <p>その他工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年度も工場再編のため工場間で設備の移動があり、試運転、試作に要するエネルギー（生産に寄与しないエネルギー）が増加 						
第三年度	排出量		t-CO ₂	換算生産数量		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	116	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	101	t-CO ₂			単位	
	削減率	12.93	%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	96	t-CO ₂			単位	
	削減率	17.24	%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	42	t-CO ₂			単位	
2019 年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	329999	熱風発生装置の更新	2020		2020	62
2	エネ起	329999	脱臭装置の更新	2020		2020	101
3	エネ起	360799	ブロワーの高効率化	2021～2022			
4	エネ起	320102	原料重量に対する石炭コークスの重量低減	2020～2022			
5	エネ起	370709	原料重量に対する溶解電力低減	2020～2022	23		
6	エネ起	380752	照明器具のLED化	2020～2022	400		
7	エネ起	310500	原単位の分母を大きくする活動 (故障低減、歩留改善等)	2020～2022			
8	エネ起	310500	時間稼働率改善による電力使用量低減	2020～2022			
9	エネ起	320206	乾燥設備における乾燥時間の適正化	2020～2022			
10	エネ起	330201	空気調和設備の管理	2020～2022			

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	kW				110	

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	35,821	1	30,649	1	29,472		
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0	0	0	0		
1,500k1未満	3	2,334	3	2,312	4	3,203		
合計	4	38,155	4	32,961	5	32,675		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	61	53	50	
N ₂ O	55	48	46	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	116	101	96	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	2	2	2	
合計	2	2	2	0
自動車総数	24	23	21	
次世代車導入割合	8.3	8.7	9.5	

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク期間中に通勤方法を自動車から公共交通機関に転換した従業員に対し、転換した分の交通費を実費支給
自転車利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	鉄道コンテナの利用

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2019
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		①2019 ②2006
	名称	①ISO14001 ②エコアクション21	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	産業廃棄物の低減活動		例年

1.5 自由記載欄

<p>2006年に環境マネジメントシステム「エコアクション21」を導入</p> <p>全社員に対しグループ会社の環境教育を実施</p> <p>工場周辺の環境パトロールを実施</p> <p>県下一斉ノーマイカー通勤ウィークへの参加</p> <p>セタライトダウンの実施</p> <p>【本社・牟礼工場】</p> <p>継続的に産業廃棄物の低減活動、ロックウール綿の固形化（ブリック）による再利用を実施</p> <p>2018年にキューボラ除湿装置を設置し、石炭コークスの使用量低減に着手</p> <p>2019年に製造工程で使用するコンプレッサーエアーの一部をブローエアーに転換</p> <p>2020年8月1日から「信州Greenでんき」プロジェクトに参画し、本社・牟礼工場の一部でCO2フリー電力の使用を開始した</p>
